ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌
vol.095
令和8年10月発行

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 福井赤十字病院

ご自由に
おとりください。



痛みが少ない 大腸内視鏡検査について

福井赤十字病院 市民公開講座開催
熊本地震における
福井赤十字病院の救護活動報告
体・病院の素朴な疑問に答えます
くつろぎの空間「クロスラウンジ」のご案内
電話自動応答システムについて
来院前AI問診サービスのご案内
診断書・各種証明書のお申し込みについて
がん征圧月間報告
臓器移植普及推進月間
特定看護師を紹介します!!
長期収載品（先発医薬品）を希望した場合の
お薬代の自己負担について
調理師おすすめレシピ

調理師おすすめ

さつまいもと鶏肉の照り煮



今回は秋の食材、さつまいもを使ったレシピをご紹介します。さつまいもは食物繊維が豊富なので整腸作用、便秘改善効果が期待できます。カリウムも多く含んでおり、余分なナトリウムを排出してくれます。皮の部分には食物繊維が豊富で、カルシウムや色素成分のアントシアニンを含んでいるため、皮ごと食べるのがおすすめです。今回は鶏肉と照り煮にしたレシピをご紹介します。人参やレンコンを入れて具沢山にしてもよし、大人向けには黒コショウや七味を入れてアレンジするのもおすすめです。

担当：調理師 上野幸恵

材料（3人分）

鶏モモ肉……1枚（約250g）
さつま芋…中1本（約200g）
玉ねぎ……1/2個
サラダ油……小さじ1
水……150cc
枝豆……少々

〈調味料〉

しょうゆ……大さじ1・1/2
みりん……大さじ1・1/2
酒……大さじ1
砂糖……大さじ1/2

作り方

❶さつまいもを1.5～2cmの半月切りし、水に5分ほどさらす。鶏モモ肉は一口大に切り、玉ねぎはくし切りにしておく。

❷フライパンに油を入れて鶏モモ肉の皮目から焼く。

❸焼き色が付いたらさつま芋、玉ねぎ、水、調味料を入れる。

❹煮立ったら落とし蓋をして弱めの中火で15分煮る。

❺煮汁がトロっとして照りが出たら完成。

栄養量（1人分）

エネルギー……304kcal
たんぱく質……15.7g
脂質……13.6g
炭水化物……30.7g
塩分……1.6g

イベントのご案内

令和8年度健康フェア

\HPはこちら/

●日時：令和８年11月29日（日）10：00～15：00
●場所：ショッピングシティ・ベル３階あじさいホール
●内容：看護師とからだの測定体験 ～聴診器や血圧計などを使ってみよう～
お子さんの間食チェック ～間食について管理栄養士と考えよう～

キャンドルサービス

●日時：令和８年12月18日（金）17：20～
●場所：福井赤十字病院 1階エントランスホール、各病棟
●内容：患者さんの「1日でも早い回復を」と願いを込め、職員がキャンドルを手に、クリスマスソングを歌いながら病棟を巡回します

今月の表紙

多彩な内視鏡診療で支える消化器医療

消化器内科では胃カメラ・大腸カメラでの診断・治療を行っています。他にも胆膵疾患に対する胆膵内視鏡、超音波内視鏡を使った消化管内外の疾患の診断・治療、小腸疾患に対してのカプセル内視鏡やバルーン小腸内視鏡など、様々な内視鏡を使い幅広い診療を行っております。また、消化器外科・耳鼻咽喉科との合同手術なども行っております。



福井赤十字病院

理念
人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針
■患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
■安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
■人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
■急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
■保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630㈹
FAX.0776-36-4133

ホームページ

広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

読者アンケート

アンケートに回答していただいた方に広報グッズをプレゼント!

ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できたて“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の情報誌です。院内の広報委員で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。

痛みが少ない大腸内視鏡検査について

大腸内視鏡検査は必要？

検診で便に血液が混じっていたり、採血で貧血が見つかった場合に大腸内視鏡検査（大腸カメラ）を勧められることがあります。現在は様々な検査法がありますが、なぜ大腸カメラが必要なのでしょうか。

●大腸ポリープや初期の大腸がんには症状がほとんどない

初期の大腸がんや、がんの前段階である大腸ポリープは、自覚症状がほとんどありません。血便や腹痛、便通異常などの症状が現れた段階では、すでに病気が進行しているケースが多いため、症状がないうちから定期的に検査を受ける必要があります。また、大腸がんは進行していても気付きにくいことがあり、他の検査だけでは見つからない場合もあるため、大腸カメラによる確認が重要です。

●細胞検査ができる

大腸カメラでは病変部を直接観察できるため、細胞を採取することが可能であり、がんやその他病気の原因を調べるのに有効です。

●ポリープや小さながんはその場で切除ができる

大腸がんは、良性のポリープ（腺腫など）が年月を経てがん化することで発生します。大腸カメラでは、がんの早期発見だけでなく、がん化するリスクのあるポリープを発見したその場で切除できるため、大腸がんの発症を予防することが可能です。一方でその場で切除できないような大きな腫瘍の場合は、内視鏡的粘膜下層剥離術（大腸カメラで大きな腫瘍などを切除する方法）や外科手術での切除を後日行うことがあります。

大腸内視鏡検査はつらい？

大腸は長く曲がりくねっており、またその曲がり方には個人差があります。曲がりが少ない人は大腸カメラを挿入しやすく、検査時の痛みも少ない傾向があります。一方、曲がりが多い方や、手術などの影響で大腸の形が変化している方は、挿入が難しく、痛みを感じやすいことがあります。

浸水下大腸内視鏡検査について

従来の大腸カメラは空気を入れて腸を膨らませながら奥へ進めるため、おなかが張り、大腸の曲がりが強くなり、カメラが進みにくくなることがあります。そのため、最小限の空気量で挿入を心がけますが、それでもカメラの挿入が難しい場合があります。

当院では、多くの症例で浸水法下大腸内視鏡検査を取り入れています。浸水法では空気の代わりに水を入れながらカメラを挿入します。水は空気に比べて格段に少ない量でカメラの行き先が見えるようになるため、大腸が膨らまずおなかの張りが抑えられます。また、水を入れることでカメラの滑りが良くなり、より簡単にカメラを挿入することが可能となります。

以上のことから、浸水下大腸内視鏡検査はこれまでの空気を入れての大腸検査に比べて、より負担の少ない検査を受けることが可能です。

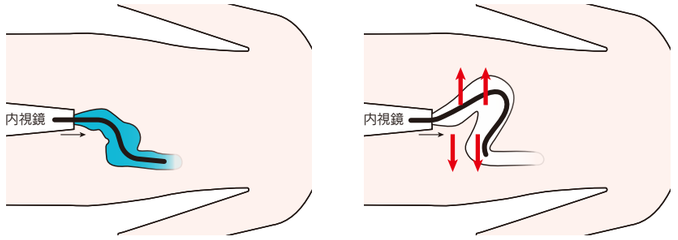
浸水法でのポリープ切除

ポリープ切除についても、症例によっては腸管を水で満たした状態で切除しています。当院ではポリープの状態に合わせて従来法での切除と、浸水法での切除を使い分けています。腸の中を水で満たすことで、ポリープが見やすく、効率的な切除が可能となり、治療時間の短縮につながります。

浸水法での大腸カメラは痛みやおなかの張りが少ない検査です。大腸カメラが怖くて遠慮していた方、以前のカメラがつらかった方も、当院での大腸カメラを検討してみてください。

大腸内視鏡検査における浸水法（青）と従来法（赤）の比較

※左横向きでカメラを挿入します。



浸水法：水が下にたまり、水圧で行き先が開いていく

従来法：腸が上に膨らみ、曲がりが強くなる



消化器内科部長
松永 心祐

福井赤十字病院　市民公開講座
腎臓を守ることは、人生を守ること
～腎臓がん＋慢性腎不全の最新知識～

福井赤十字病院 市民公開講座を9月6日（日）、福井赤十字病院で開催し、約200名の方にご参加いただきました。腎臓がんや慢性腎臓病の最新知識をはじめ、治療や相談、食事療法について理解を深めました。

講演内容の詳細はコチラ

講演1
最近の腎癌治療の進歩について

がん診療センター長・腎センター長
角野 佳史

腎臓は、血液をきれいにして老廃物を尿として排出し、水分や塩分のバランスを保つ大切な臓器です。腎臓の働きが低下すると、高血圧や心臓病など全身の健康に影響を及ぼします。

腎がんは、腎臓の細胞に遺伝子変異が生じて発生するがんで、健康診断や人間ドックで早期発見されることが増えています。腎がんの治療の中心は手術で、がんの大きさや場所に応じて腎臓全体、または一部を切除します。最近では口ボット支援手術「ダビンチ」の普及により、より精密で体への負担が少ない治療が可能となっています。また、薬物療法も進歩し、特定の遺伝子に効果的な分子標的薬や免疫の力を利用してがんを攻撃する免疫療法により、進行した腎がんでも長期生存や治癒を目指せる時代になっています。





動画はこちら

国立がん研究センターのがん情報のパンフレットや動画もご参照ください

講演2
身近で安心！がん相談支援センターの上手な使い方

がん相談支援センター 認定がん専門相談員
吉川 朋子

がん相談支援センターは、がんに関する不安や疑問を無料・匿名で相談できる窓口です。治療にともなう副作用、仕事を行いながらの治療、医療費、家族への伝え方など、どのような内容でも相談できます。看護師、社会福祉士、公認心理師など、専門の職員が患者さんと一緒に考え、安心して治療や生活に向き合うことができるよう支援しています。お気軽にご利用ください。

講演3
腎臓が悪いと言われて受診されたとき、腎臓内科医が考えていること

腎臓・泌尿器科部長 鈴木 康倫

CKD（慢性腎臓病）は、腎臓の働きが低下した状態が続く病気で、日本では成人の約5人に1人が該当するといわれています。

初期の腎臓の異常は自覚症状がほとんどないため、健康診断での尿検査と血液検査で異常を指摘された際は早期に治療することが重要です。CKDの診断には、尿蛋白の有無や血清クレアチニン値から算出されるeGFRが用いられますが、過去のeGFRの推移を見ながら治療計画を立てていくことになります。

治療では、原因となる高血圧や糖尿病の管理に加え、減塩や適度な運動、禁煙などの生活習慣の改善が重要です。近年は腎機能の低下を抑える効果が期待できる新しい治療薬も登場し、早期から適切な治療を行うことで透析導入を遅らせることが可能になっています。また、腎機能の低下が進んだ場合の腎移植や腎代替療法の治療選択については、自分らしい人生を見据えながら医療者と患者本人や家族等と一緒に考えることが大切です。

講演4
慢性腎臓病のSDGs持続可能な腎臓食事療法

管理栄養士栄養課係長 小川 初実

慢性腎臓病では、腎臓の働きを守るために食事療法が大切です。ポイントは「食事のバランスを整える」、「塩分を減らす」、「たんぱく質をとり過ぎない」の3つです。特に福井県民は塩の使用量が全国平均より多いですが、少しでも塩分を減らす努力を推奨しています。またご飯、肉や魚、野菜を毎食そろえ、漬物、汁物、しょうゆのかけ過ぎに気をつけましょう。ただし、無理な制限は長続きしませんので少しずつ減塩を心がけ、自分に合った方法を続けることが大切です。失敗してもあきらめず、できることから続けることで腎臓を守ることになり健康な生活につながります。

令和8年度
熊本地震における
福井赤十字病院の救護活動報告

令和8年7月28日に発生した熊本地震を受け、福井赤十字病院の職員が日赤福井県支部の救護班、災害医療コーディネートチームとして被災地へ派遣されました。

救護班は、8月に2班が熊本県宇城市で救護活動を展開しました。連日、猛暑のなか複数の避難所を巡回し、被災された方々の体調確認や健康指導、避難所の衛生管理のほか、不安や悩みに耳を傾けるなど、心身のケアに取り組みました。両班とも研修医や女性主事が加わったことで、手厚く効率的な活動にも繋がりました。

今回の災害でもオール日赤が一丸となり、全国の赤十字から延べ188班の救護班、74チームの災害医療コーディネートチーム、51班のこころのケア班などが派遣されました。また、日赤が国際救援で培ってきたノウハウや資機材を活かした給水・衛生面（手洗いや洗濯機など）での支援、安眠セットやタオルケットなどの救援物資の配布も行われました。

そして9月末、地元医療機関の復興を見届け、日赤全体としての活動は終了しました。（義援金は3月末まで受付中）

今後は、日赤熊本県支部にて被災者へのストレスケアや健康管理を実施していく予定です。

赤十字はこれからも、被災された方々に寄り添う活動を続けてまいります。


熱中症予防に留意しながら健康状態を確認


子どもに寄り添うこころのケア


一人ひとりに寄り添いながら診療

救護活動で感じたこと、思ったこと

8月11日に福井を車2台で出発し、大阪南港から新門司港へフェリーで到着したのは翌12日の朝5時でした。そこから熊本県へ向かい、4日間の救護活動が始まりました。

活動地の宇城市へ向かうにつれ、道路のひび割れや屋根にかけられたブルーシート、倒壊した家屋が徐々に姿を見せ始め、被害の大きさを感じずにはいられませんでした。

避難所内では、コロナ発生に伴う隔離や、パーテーション、更衣室等の不足によるプライバシーの問題、支給される食事の栄養面など、まだまだ被災者の環境は困難を強いられています。日中家の片づけを行い、疲弊した体で避難所で寝泊まりする被災者も多く、その苦労は計り知れません。

災害は他人事と思わず、自分事として捉えることが重要です。「まさか自分が……」とは災害時によく耳にする言葉です。もし今大地震が発生したら、あなたやあなたの家族はどう行動し、どこに避難するでしょうか。連絡はとれますか。食料はありますか。いつ発生するか分からない脅威に対し、日ごろから備えておきたいものです。




丁寧な対話を通じてニーズを把握


チームで情報共有しながら活動内容を記録

令和8年熊本地震
～日本赤十字社
9日間の初動～
日本赤十字社
YouTubeチャンネルより

体・病院の素朴な疑問に答えます

病院のボランティアはどのような活動を行っているの？

当院では、病院ボランティアの皆さんが、患者さんやご家族の「ちょっと困った」に寄り添いながら、さまざまな場面で活動しています。

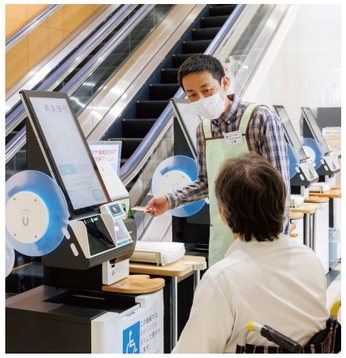
受付機や自動精算機の操作補助、受診科・検査室への案内、入院時の病棟案内などを行い、初めて来院された方や不安を抱える患者さんが安心して受診できるようサポートしています。

また、廊下での季節の装飾展示や音楽コンサートの開催などを通じて、患者さんやご家族が少しでも心地よく過ごせる環境づくりにも取り組んでいます。病院という緊張しやすい場所だからこそ、ほっと一息つける時間や空間を届けてくれています。

そのほかにも、シュレッダー作業や衛生材料の準備、外部への発送物の封入、ペーパータオルの補充など、職員業務を支える裏方としての活動も担っています。

患者さんと同じ地域で暮らす市民としての目線からかけられる言葉や配慮は、「ほっとした」「声をかけてもらえて嬉しかった」といった患者さんからの声にも結び付いています。

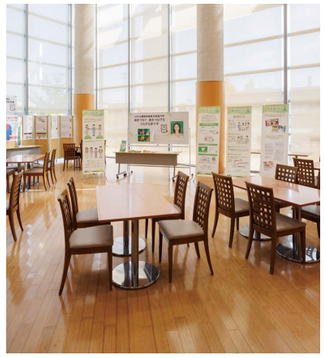
「誰かのために少しでも力になりたい」という思いで活動されているボランティアの皆さんは、目立たないところで病院を支える大切な存在です。その温かな活動は、病院全体の安心感や親しみやすい雰囲気づくりにも大きく貢献しています。



くつろぎの空間「クロスラウンジ」のご案内

クロスラウンジは、患者さんやご家族など、どなたでも自由にご利用いただける休憩スペースで、軽食やお食事にもお使いいただけます。

クロスラウンジは正面入口を入ってすぐ右側にあり、自動販売機、電子レンジ、手洗い場、ゴミ箱を備えています。ご利用時間は平日8時20分~17時です。診療やお見舞いの合間のひとときに、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



電話自動応答システムについて

当院では、患者さんへのご案内をよりスムーズに行うため、令和8年7月1日より電話自動応答システム（自動音声ガイダンス）を導入しました。

代表電話（0776-36-3630）へおかけいただくと、まず音声案内が流れます。診療時間内は、音声案内の後に電話交換手が応対し、ご用件に応じて担当窓口へおつなぎします。

また、診療時間外は自動音声ガイダンスによるご案内を基本としており、ご用件に応じた案内を行います。お問い合わせ内容によっては、音声案内のみでご案内が完了する場合があります。なお、お問い合わせの内容や時間帯によっては、お電話がつながるまでにお時間をいただく場合があります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

来院前ＡＩ問診サービスのご案内

8月より、来院前にホームページからご利用いただけるＡＩ問診を導入いたしましたﾟご自身のスマートフォンやタブレット等から、問診を入力していただくことで、受付時間の短縮や外来でのスムーズな診療につながります。

■対象となる方
・初めて受診される（初診の）患者さん
・紹介状をお持ちの患者さん

■ご利用方法
①当院ホームページ右上の「来院前ＡＩ問診」ボタンをクリック
②「問診フォーム一覧」から受診する診療科の問診を入力
③問診終了後、ＱＲコードをダウンロード
④診察当日、受付窓口にて画面を提示

複数の診療科を受診される場合は、それぞれの診療科の問診を行ってくださいﾟその他詳しい内容はホームページをご覧ください。

患者さんの待ち時間短縮と円滑な診療のため、ぜひご利用ください。



診断書・各種証明書のお申し込みについて

9月より、診断書や各種証明書の申請窓口を一部変更し、書類窓口での受付を開始いたしました。生命保険診断書や指定難病臨床調査個人票などを申請される場合は、書類窓口でお申し込みください。なお、書類の作成には日数を要する場合がありますので、余裕をもってお申し込みください。また、文書の種類によっては外来受付での申請が必要な場合がありますﾟ詳しくは当院ホームページをご覧いただくか、書類窓口へお問い合わせください。



がん征圧月間報告

9月の「がん征圧月間」に合わせ、当院ではがんに関する正しい知識の普及と早期発見の重要性を呼びかける啓発活動を実施しました。クロスラウンジでは、がん予防に関する資料や応援メッセージを展示し、多くの方にがんについて考えていただく機会となりました。

当院のがん相談支援センターでは、がんに関するさまざまな相談に専門相談員が対応しています。どうぞお気軽にご利用ください。



患者さんやご家族に医療従事者からの思いが込められた応援メッセージ

臓器移植普及推進月間

10月は「臓器移植普及推進月間」です。当院では普及啓発活動の一環として、10月14日（水）から10月20日（火）までヘリポートをグリーンにライトアップしました。

日本臓器移植ネットワークのホームページでは、移植医療に関する情報のほか、全国で実施される関連イベント情報等を紹介しています。期間中は福井県内や全国各地でさまざまな普及啓発活動が実施されました。

（公社）日本臓器移植ネットワークはこちらから



移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップされた当院ヘリポート

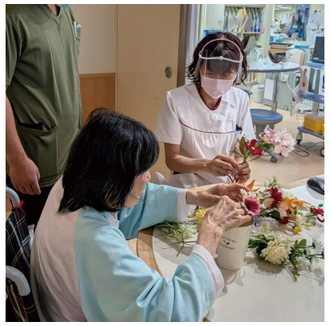
第1回 特定看護師を紹介します!! 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

「特定行為」とは特定の研修を受けて知識と技術を習得した看護師が行うことのできる38の医療行為のことをいいます。これまで医師が行っていた処置や医療機器の調整、投薬などを患者さんの側にいる看護師が行うことで、患者さんの状態に応じた適切なタイミングで医療を提供することができます。

このような特定行為を行う看護師を当院では「特定看護師」と呼んでいます。当院では6名の特定看護師が写真のようなバッジをつけて活動しています。（図1）

今回は、整形外科病棟で活動している「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の特定看護師の活動をご紹介します。

高齢の患者さんは入院に伴う環境の変化や治療の影響によって場所や時間、なぜ入院しているのかがわからなくなり、混乱が強くなることがあります。以前、入院当日の夕方から混乱が強くなった患者さんがいました。その日は休日で医師が不在でしたが、特定行為の手順書に基づき、その患者さんの状態に応じた抗精神病薬を処方し、内服していただきました。患者さんは徐々に落ち着き、朝までぐっすり眠ることができました。



患者さんと生け花を楽しむ特定看護師

（図1）特定行為研修修了者バッジ

このように特定看護師は患者さんの変化にいち早く気づき、医師が不在の場合でも適切な薬剤投与を行うことができます。今後も特定看護師としての知識と技術を活かし、患者さんがよりよい療養生活が送れるよう支援していきたいと思います。

長期収載品（先発医薬品）を希望した場合のお薬代の自己負担について

長期収載品とは、後発医薬品（ジェネリック医薬品）が販売されている一部の先発医薬品のことをいいます。

令和6年10月から、患者さんご自身の希望で先発医薬品（長期収載品）を選択した場合には、通常の医療費の自己負担（1～3割）に加え、「特別の料金」をご負担いただくようになりました。

「特別の料金」は、以前は先発医薬品と後発医薬品の価格差の4分の1でしたが、令和8年6月からは2分の1に引き上げられました。そのため、先発医薬品を希望される場合は、お薬代がこれまでより高くなることがあります。

なお、医師が医療上の必要性があると判断し、先発医薬品を処方した場合には、「特別の料金」はかかりません。また入院中に使用するお薬や、退院時に処方されるお薬についても、この制度の対象外となり「特別の料金」はかかりません。

医療保険の負担を公平にし、将来にわたり国民皆保険制度を守っていくため、国は価格の安い後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を推奨しています。

お薬について気になることやご不明な点がありましたら、お気軽に薬剤師へご相談ください。

